夕刊
一月十五日發行
定價 [illegible]
發行所 磐城新聞社
（日曜祭日翌日休刊）

運命論

日本姓名學會東北支部長 鵜沼孝昌

二

其の說によると『神は天地を主宰す、其の主宰は不變的不可抗的である、神は永遠に起るべき事柄に對し一の決定を有す』と又『パウロ』が神世々の先より定め給ひし旨と云ふもの卽ち是である、神界はこの聖旨に從ふて支配されつゝある之は宇宙全体に對する事のみでない、その個々の分子に對しても亦然りである、卽ち宇宙とこふ大系統が何故に細かな小系統に分裂するか、玆では自己發展のためであるといふ事になつて居る『カルビン』といふ人も亦『豫定とは神の永遠的命令であつて神は之に依つて人間個々の運命を決す』と云ふ居る、基督教を希臘哲學化せしめた所謂『ヘゴラ』哲學も之を認めて居る『スピノザ』といふ大哲學者は『精神といふ者も自然といふ者も凡て唯一實体なる神の屬性である其の故に物質が因果の理法に依つて支配せらるゝ如く精神も亦因果の理治に依つて支配せらるゝものであると云ふて居る。この因果どいふ事の中には無論豫定といふ意味が含まれて居る、近世の科學は凡ての迷信を打破する事に向つて全力を傾け現に非常な成功を示して居るがそれでも尙人生の必至必然を認めて居る、只必然であるが其は人の知り得る處であると云ふて居る、科學の立場として誠に止むを得ない說明であるが一步進めて考へて見ると必至は必ず豫定である斯樣に凡ての學者は豫定といふ事を認めて居る基督教の樣に豫定とは神の意志神の命令のみに考へて居るが運命の豫定は神の意志神の命令に據る事も多いが佛者の所謂因果に據る事も爭はれぬ事實である、故に人運命の豫定は遺傳の力姓と習慣の力名が相交はり相寄つて人の性向を作り其の性向がやがて人の運命に影響し、神の意志、神の命令と相俟つて此處に運命の

潮聲硯静抄帳

『ボーナス』　席上互選
出吟十六人——五十一章
選者十八人——選句二十五章

六點句
小使の押いただきし賞與かな　秀勝

四點句
ボーナスを故郷の母に送りけり　花里

三點句
ボーナスや靴音はづむ暮の路　北窓
ボーナスの噂に集ふ廊下かな　石城
ボーナスのうれしさを吐く煙草哉　同
ボーナスや其夜歌舞伎に母連れて　松堂
ボーナスに春着明るく整へり　芳月
ボーナスにいさゝか奢る小吏かな　香村子
ぬりたての大卓子に賞與受く　六花

流れ行く道が豫定せらるゝ事と思惟せらる

社會の今日

○
注連とりて軒端淋しき雀かな　明香
川楊生ふる岸邊の冬ふかし渡船はあれど渡船守なき　尾山篤二郎

1月16日
△米國ペルリ浦賀に來る（安政元）△米國絕對禁酒案通過（一九一九）△國際聯盟十九國委員會再開△アメリカ政府は滿洲國不承認主義を列國へ通告す（昭和八）

嫁と姑（三）

女子勞務者講習會に於て
古河人事係長 前松佐嘉述

かく擧げて見ますと嫁と姑とは年ぢう喧嘩ばかりして居るやうに見えますが必ずしも仲の惡いに定まつては居りません、實に麗はしい圓滿の狀を表はしたのも少くはありません。これは家族銘々が互に讓りあひ互ひに同情しあつて一家協同の實を擧げ々爲である

柔かな嫁菜姑のお齒にあひ

柔かな嫁は姑の齒が立たず

この二句は同じ樣な文字を用ひて反對の言ひ表はし方をして居りますが柔よく剛を制すると云ふ嫁の從順な美德を示したものであります

更に嫁の方から姑に同化し或は孝養を盡して兩者融和をはかつた物としては

如才ない嫁お經をも讀み習ひ

仲のよい嫁はお經を讀み習ひ

仲のよさ嫁こう〳〵を刻んでる

針めどを二人前づつ嫁通し

杖となる嫁で親子にふがなし

と云ふのがあります、猶ほ今一つの面白い現象は嫁に子供が出來ると姑の心狀もすつかり變つて來るもので嫁は憎いに拘らず孫は無上に可愛いのが老人の常であります、川柳はまた之を巧みに表はして

孫が出來姑はじめて嫁をほめ

憎い嫁かあい孫をやたら生み

孫の手で姑は嫁にたゝかれる

と詠んで居りますが、實際姑も孫が出來て見ると孫の愛情に引かされて自然嫁が可愛くなるものであります

講談 幕末神風組

(97) 土生太郎作 高根秀浩畵

近藤勇（三）

それから間もなく近藤勇と淺野隼人の姿は附近の料亭の奥座敷にあつた

『その後絕ゐて久しくお目にかゝらぬが、御無事でおめでたうござる』

『うむ、歸つてから一度貴公に逢ひたい〳〵と思ひ乍ら、その機を得なかつたが今日は偶然であつた。貴公も逹者で結構な事だ』

『京洛の地は大變な騷動だつたとな』

『あゝひどいとも何んとも味方は何れも慘敗だ』

『お祭しする』

『しかしこれも時勢だよ！我々の力が及ばないのぢやない、何うする事も出來ない時の力なんだ』

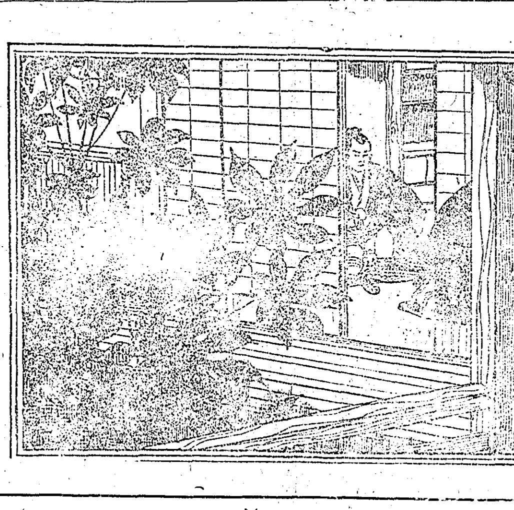
勇は妙に沈んだ調子で云つたが、すぐそれを打ち消すやうに大きく笑つて

『俺としたことが、飛んだ繰り言か——』

そして盃を取り上げると

『さあ、一つ行かう』

『や、かたじけない』



[illegible]は、盃を受けて、それをグッ！と一息に呑み干して、すぐそれを返す

『御返盃』

『や、貴公と呑む酒も、隨分久し振りだなあ！』

『さうだ、あの頃はお互に元氣一杯だつたな、時の遷りは感じてはゐたが、かうも急速に世中が變つて來ようとは夢にも考へなかつたからなあ』

淺野も當時の事を追想するやうにかう云つた

『それが僅かの間だ、こんなに變つて了ふとは……しかしなあ、貴公は何う思ふ——』

『といふと……』

『我々の立場を……』

『それか——』

『うむ』

『何うも斯うもありやあしない、之は我々のとる一番正しい道、良策だと考へてゐる』

『そりや、さうだ、俺もそれは同感だよ。しかし天朝へ逆らふといふ事は……』

『いや、さうではない、我々は一天萬乘の大君に反旗をひるがへすのではない、我々の刄の行く處は——口に尊王の大義を唱へ乍ら、その心に實のない逆に正義の刄を下すことにあるのだ！』

『正義の刄！』

『さうだ、徳川三百年の恩願を仇で返す不所存者に天誅を加へるのだ』

『だが……』

勇は云ひかけて、言葉を切つたが、盃をグッと呑み干して、それを又淺野にさしてやり乍ら續けた

『だが、世間ではさうはい……まいぞ——世の中の事は一樣には行かないものだからなあ』

『な、何を云ふんだ、貴公にも似合はぬ……』

『あゝ似合はぬかも知れぬけれども……なあ淺野氏俺は今までこんな事を誰にも話したことはないのだ』

『うむそれは判つてる、しかし世間が何んだといふのだ、世間の奴等のおもはくを間ひ〳〵何が出來るといふのだ！』

淺野の言葉には血と熱がこもつてゐた

『世間の奴等が何んだといふのだ、我々はたゞ信ずるところを敢行すればよいのだ……』

『さうだ、確にさうだ、さうに違ひない、俺は今でもさうであると信じてゐる、……が……』

『……』

『昨日までは、いや今でもさうだとは信じてゐるだが一方に俺の別の心は、又それを打ちけしてゐるのだ。お前のやつてゐる事は恩義の前に當然なすべき事である。けれどもそれは誤つてゐはせぬか、もつと大きくさうした局部的なものゝ見方をしないで、此の大日本といふ、大きな國さうだ國家といふ立場から見たらどうかとな……』

防寒メリヤス
◎專賣特許毛メリヤス◎
防虫加工純毛メリヤス……三圓・三圓五十錢
防縮加工純毛メリヤス……二圓五十錢・三圓
防虫加工＝夏季ノ保存ニナフタリン樟腦ノイラヌ絕對虫ノ喰ハヌ特許製品
防縮加工＝御無理ナオ洗濯ニモ絕對チヾマヌ特許純毛メリヤス製品……
◎才婦人向●才子サン向實用防寒メリヤス●毛製品◎
ヤルツ
平電四一〇

腕提掛置時計
眼鏡新型
指輪
ビクター
コロムビヤ
……二月新譜入荷……
金光堂時計店
電話一九五番

貸切車御用の際は是非電話六四〇番尼子タクシーへ御用命を御願申ます。
新車も購入致しました。
平町二丁目
尼子自動車部
電話六四〇番

眼科專門
賀澤眼科
平町南町
電話七二番
診療時間 每日 自午前八時 午後九時迄

內臓外科
外科一般
花柳病科
入院隨意 自炊の便あり
平町田町赤心堂病院跡（電話四七五番）
安齊外科醫院

一、全能式電氣治療
一、ラヂウム放射浸透治療
一、紫光線治療
本療法は八種の電流を應用し心身共にいふべからざる爽快を覺ゆる裡に最高の治病及び增健的效果を遺憾なく發揮させる最新治療法で有ります
適應症
頭痛、神經痛及痳痺、リユーマチス、關節炎、ゼンソク、百日咳、胃腸病、氣管支カタル、中耳炎扁桃腺炎、腎臓炎、蓄膿症、ルイレキ、動脈硬化症、カリエス、助膜炎、乳腺炎、白黑ソコヒ、カタコリ、ウチミ、母乳不足、クジキ、手足シビレ腰痛、痔疾、淋病、其他
平町大町五
伊坂電療院

◎日本石油株式會社特約店
ライジングサン石油株式會社平油特約店
關彰商店平支店
電話六一一番
本店 水戶線下館驛前（電話五五番）
營業種目
石油、揮發油、輕油、重油、モビール油、マシン油、機械油類、胡麻、種水、植物油、コールタール、カーバイト、石炭、コークス、ストーブ
支店所在地
茨城縣土浦町田宿（電話六五三）（八二四）
常磐線關本驛前（電話平潟五四）
常磐線四倉驛前（電話四八）
◇海上給油及油槽所 久慈濱、大津、平潟

外科全般
內科 小兒科
醫學博士 渡部義夫
女醫 渡部きい
平町田町大通り（電話二七七）
渡部外科
（入院應需）

日本に唯一つ
魂の這入つた
東京工場聯盟の自轉車
指定販賣所
フタバ商會
平。新川町。橋際

淋藥界の最高權威
無効返金（二日間服効なき時は殘藥引替に全部返金す）
一週間…赤箱…金五圓　黑箱…金參圓
世界の名湯別府溫泉で名高い。岩里家の家傳祕藥は男女血ウミ、コシケ、淋病消渇に奇蹟的効果あり如何な頑固な痳疾でも短時日に根治が出來且つ再發することなく注射や他藥で治らぬ諸賢は最後の藥として迷はず……名藥別府淋藥の御服用に依り幸福を得られん事を希望致します。
別府皮膚藥 金三十錢 金五十錢
天下の名湯別府溫泉のラヂウム含有の精に各病醫院及最高學府の處方劑集め大成せる皮膚病特効藥であります、たむし、いんきん、みつむし、なまず、しらくも等其他皮膚病に卓効あり。
九州別府市鶴乃園 岩里天然堂
代理店 平町三丁目北裏通り 渡邊いと
（特約店募集）

貸切ノ御用命ハゼヒ三井自動車部へ
電話六八五番
乘合は 好間…合戶…澤渡方面行

小兒科專門
附內科
志賀醫院
平白銀町十番地（前伏見町長跡）
電話（呼出）六五〇番

產科
婦人科
花柳病科
午前宅診
午後往診
入院應需
井阪醫院
平町田町（元合津醫院跡）
電話五五九番

平町田町（電話五三一番）
高久病院
內科 小兒科 醫學士 高久忠
外科 花柳病科 新潟醫學士 赤羽清
耳鼻咽喉科 藥劑士 佐竹[illegible]雄
レントゲン科

內外 建築材 建具材
入 阿部材木店
磐城國平町（公園下）
電話四九四番

月曜論壇

平町會に期待す

一昨十三日の平町會に近來稀に見る多數の傍聽者があつた事は色川工場問題に關する町民の關心を最も明瞭に反映したもので隨つて附近住民と否とを問はず極めて尖鋭化した氣分を以て全町の視聽を集めて居る該問題の解決は蓋し何人も之を容認する底の飽迄合理的なものであらねばならぬ事は茲に更めて呶々する迄も無い卽ち總有る感情の上に超越し所謂明鏡止水の冷靜なる態度を以て問題の全貌を正しき角度より觀測し終始全町民の福祉を目標とし一面事業家に對する同情を以て克く其の利害を考覈相殺し得失の分量を基準として左右を決定すべきである若し夫れ事の賛否如何を問はず之れが向背を決する町會の縱橫斷上露骨なる手段として暮夜紅燈綠酒の裡に或種の秘策を練るが如き腐臘談を出すが如きあらんか之れ町民を侮るも甚だしく根底より町政を毒するものとして吾人町民の斷じて許容すべからざる處である、而も此種醜怪事に關する萬一の豫想が幸にして杞憂に終らん事を祈念して措かざると共に之際町民の連帶責任として須く町の利害に卽せざるが如き動向を未然に抑壓するに充分な監視を續けねばならない、敢て望む

不完全な議事堂

最近の平町會に於て問題渦中の傍聽者が恣に開會中の議席に入り自己の信賴する議員との間に何等かの連絡を取つた事から議場內に怒罵叱呼の突風を捲き起したに就ては當該傍聽者の敎養を疑はねばならぬ事勿論であるが一面平町會議事堂の設備が餘りに簡單で容易に之種の行動を誘致したのも其の一因と觀るべきである、尤も現在の議事堂は財政難の町が一時的に使用しつゝあるもので將來本格の建築をなす場合には斯の如き遺漏あるべくも思はれぬが現狀の間は議場統制者の細心な注意と傍聽者各自の常識とにより之種の醜態を繰り返し度くないと思ふ

インテリ集團最高峰 石城在住學士の集ひ

短褐高履の時代に還つての大徹底 早春の一夜を住吉屋本店の盛況

最近の些か生產過剩から、一部沒義道の連中にかかつては往々桝で量る程あると許り宛然寂寥の類ひででもあるかの樣な失禮な目を以て見られる場合が無いでも無いが尋常科入學以來先づ中學進出の關門に試驗難の洗禮を受け血の滲むやうな高等學校入り前後の苦辛から最後の大學を巣立つ迄時には氷囊で頭を冷し乍ら其間幾百回とない試驗を突破し『……なら』と娘を吳れられる標準資格を獲得した學士さんの集り。地方に於けるインテリ集團の最高峰、學士會常磐支部の春季懇親會は平町難波醫學博士入山中村法學士當番幹事の下に一昨十三日午後七時より平町住吉屋本店に於て開催したが會員五十二名中出席左記二十七名、難波幹事の開辭につぎ、年長の清田檢事を座長として會の進行を圖り例へば三堀檢事の『私には前科がありません』など、各自諧謔交りの自己紹介をなし、終つて置酒歡談早春の夜の更闌くる迄徹底し和氣靄々裡に散會した因に次回幹事は古河矢野(工)平町有島(醫)四倉橫井(理)の三氏で、尙ほ明治時代の出身者は次回より會費を免除(寄附は之の限りに非ず)して顧問に推薦する事になつた

出席者―平區裁判所荒井虎雄(新潟)小檢事局清田一郎、同三堀博(神奈川)磐中渡邊恒久(鹿兒島)平町大森勇(宮城)同難波睦(東京)同有島勇二郎(鹿兒島)內鄕村炭鑛業日野宗利、湯本町鈴木康平(福島)四倉町小室萬五郎(東京)同眞田觀彰、同竹田京(千葉)好間村古河好間鑛業所下野十朗(岐阜)同矢野公一(福岡)同小林修、磐城炭鑛濱崎善三郎(熊本)同青沼淡夫(福島)同倉田龜之助(東京)同田寺茂實(鳥取)同柳瀨菊次郎(兵庫)茨城縣磯原町大倉無煙炭鑛細野龜一郎(福岡)湯本町入山炭鑛吉田宗雄(熊本)同大賀經次(栃木)同小山田滋(長野)同今泉耕吉(佐賀)同中村豐(佐賀)同原義雄(千葉)

町の縱斷幹線 近く面目を一新

來月末愈々側溝完成

國道舖裝工事の前提である平町八年度匡救側溝工事は客臘中紺屋町、一、五丁目間の本町地內を終り目下研町、長橋町の溝渠用年蓋コンクリートブロックの作製中で他工事共來月末迄竣工の豫定であると

平町是調査

明十六日委員會

平町の資源調査會では恒久財產として町營電氣の計劃を樹て目下全町の配當戶數に就いて詳細な下調べを行つてゐるが明十六日午後一時から會議室に町是委員會を開き種々今後の調査方針を協議する事になつたと

豫算編成指導

吉富課長來平

平町では來る廿日午前十時から縣吉富地方課長を招き會議室に於て豫算編成の指導を受ける事になつたが當日は郡下各町村主任五十餘名出席すると

中野氏再た訴願か

戶數割賦課異議申立 町會で却下決定

平町新川町中野勇吉氏の提起に係る七年度戶數割賦議の行政訴訟は目下審理中であるが八年度分四百七十四圓二十四錢に對しても異議の申立あり一昨十三日の町會で申立て相立たずとして却下されたが同氏は前年度分同樣縣參事會に訴願するものと觀られてゐる

教練用銃器

平商、磐中へ交附

平商五挺、磐中十挺の割當で近く夫々敎練用銃器の交附を受けるが之れで平商は七十五挺、磐中は六百三十挺備へつけの事となると

平町へ併合反對

內鄕村小島で決議

平町の大都市計劃に伴ふ他村隣接部落の併合問題は歷々論議されつゝあるが內鄕村大字小島では一昨十三日午後六時より同字萬藏寺に大字集會を開き平町新都市計劃による合併に對して委員數名を擧げて猛烈なる反對運動をなすことを決議した

表彰狀傳達

小山田係長へ けふ平署で擧式

入山炭鑛人事係長小山田滋氏は昨年平署で檢擧の五。九事件のキャップである當時同鑛採炭夫山田文夫事星野篤の檢擧に際し逮捕を容易ならしめた廉で舊臘廿八日附畑山知事及縣刑事協會平支部長橫山署長よりも左記表彰され今十五日午前十時半から同署會議室で關係者立會の下にこれが傳達を受けた

石城郡湯本町　小山田滋

昭和八年三月以降五月九日迄特高警察上相當注意を要する人物の行動を內偵し治安維持法違反事件の檢擧を容易ならしめたる段殊勝に付金一封を賞與

昭和八年十二月二十八日
福島縣知事正五位
勳四等　畑山四男美

賞狀　小山田滋

昭和八年五月九日共產黨員星野篤の檢擧に際し其の逮捕を容易ならしめたる功勞特に顯著に付茲に之を賞す

昭和九年一月十日
福島縣刑事協會平支部長
警部　橫山宗延

○。。。。平町區長異動　十三日の町會の結果三丁目區長海老根淺吉氏は退職、柳町區小野金太郎氏、區長代理飯田近治氏、七區高野虎三郎、十六丁目區菅野秀次郎、廿五區佐藤熊太郎の四區が決定した

間際に出馬して當選

箕輪の遠藤齊氏 村議補缺戰了る

箕輪村々會議員高萩國太、小沼末造兩氏の選擧違反失格による欠員二名の補欠選擧は昨十四日午後三時から同村第二小學校で執行したが左記得點で間際に出馬した遠藤齊氏が最高點で當選した

六六遠藤齊、六五小沼末造、次點五七高萩國太

○。。。。。土木課員視察　縣土木課木村、鷲崎兩技手は來る十八日來平、十九日小名濱、

適齡者寄留地受檢手續

本年適齡者中寄留地で受檢せんとする者は本月中に寄留地兵事官市區町村長に手續すべき旨平町役場から昨十四日町內各區に通牒を發した

自動車業者へ警告

新川の櫻ご側堤の被害

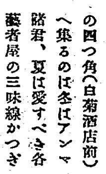
前記側溝工事の關係から平湯本間乘合自動車二十餘臺は客臘來紺屋町扇屋旅館脇より磐城訓盲院前を通り新川端に拔けて尼子橋畔に迂回して居るのでこれが爲昨春新川端に移植した櫻樹二十餘本は摺れ違ひの際何れも倒され長橋地內コンクリート側堤も崩壞して被害少くないので近く其筋で營業者に嚴重警告を發する事になつたと

湯本町に新公園

入山從業員の奉仕で 愈々來月下旬完成

入山炭鑛では同鑛グラウンド南裏山を公園化すべく昨夏來公休日每に全從業員を三班に分け約五六百名出動でこれが美化に努めて來たが愈々來月下旬完成展望臺からは遠く小名濱方面を眺望されるなど一般から喜ばれて居る、尙同鑛山神社も目下拜殿新築中でこれ又三月末出來上るので來る四月十五日の恆例山神祭に盛大な落成式を擧行すると

艷罪黑白



◇一娼功成つて萬骨枯る。を慰むると云ふ譯でもないが今日ぱ一つ常にれえさん達の爲に下積みの生活に甘んじてゐる箱持ち諸君の事をベチヤる事にしやう◇夜更けてから新田町の四つ角(白菊酒店前)へ集るのは冬はアンマ、諸君、夏は愛すべき各藝者屋の三味線かつぎ諸君である◇二人立ち三人集りして段々大勢になつた之等の連中三味線をかついだ儘いとも朗かに朝起きて茶わんを落して女將に怒鳴られた事やら色々一日中の經過を報告し合ふ◇そして共逐一ぱひに落花生の殻を散らかして散會するが家へ歸つて途草を怒鳴られるとそれがまた明日の報告材料になると云ふ譯◇之の組から昇格して今は押しも押されもせぬ一本になつてゐるのを數へると……A、B、C決して一人や二人で無いが御當人の名譽の爲特に今回限り名丈けは御あずかりにする。

綺麗頸數人を並べ 文無し客の豪遊

留置所で今朝悄氣返る

高久村山口僧侶佐竹德(三〇)は昨夜八時頃平町田町料理屋寮の家に登樓藝者數名をかけて大豪遊をした後催促されたのを憤り傍にあつた煙臺、脇息、茶器類を投げ散らして逃げせんとした處を急行の平署員に取り押へられたが留置所でも百圓入りの蟇口が見えぬと係官にくつて掛つたが昨夜の寒氣にすつかり參つてしまひ今朝は兩手を合せて念佛をとなへてあやまつて居た

劍道用具資金募集

第一校の劍道部は去る九月創設以來着々堅實な練習を續け客臘中その發會式を擧げたが何せ道具の少い事とて思ふやうに稽古が出來ぬ處から昨十三日左記分擔を決め今十五日から兒童の練習に便ならしめてゐる

△月曜日(尋五、高二)古川、佐藤、大谷、水竹、橫田、井上

△木曜日(尋六、高一)中村、根本、松本(正)、瓜田、水竹、橫田

約半數が風ひき

由々しい實情に鑑み 平町の各小學で豫防策

平町の各小學校では昨今の寒冒流行に鑑み今十五日臨時職員會で協議の結果明十六日から約二週間午前九時始業の四十分授業、朝禮、朝會、朝の豫習及放課後の自習を廢し、マスク、吸入等の奬勵をする事になつた尙は第一、第二校の昨今の缺席左の如く全校生の約一割を占めて居り全兒童の殆ど約半數が冒されてゐるらしい

		十三日	十五日
第一	(一、五四七)	九二	一五八
第二	(一、六〇七)	一〇八	一三二

○。。。。平署武道優勝者　一昨十三日湯本役場新築落成をトして催された劍道大會高點試合に平署大谷刑事は一等室井巡査は四等、高子巡査は五等を占めた

○。。。。平商寒稽古開始　平商の寒稽古は明十六日から十日間行ふが事故欠席を除き極力出席を促してゐる尙は來月九日には之の納會を催すと

農業經營講話 田人

組合村農會では左記日割で郡農會米山技師指導の下に農業經營講話會を開くと

廿日石住、廿一日貝泊、廿二日荷路夫、廿三日田人村南大斗、廿日田人小學校

○。。。青年團新年會　平青年團では來る十九日午後六時から住吉屋本店に於て新年宴會を開く

○。。。。樋口技師出發　農林省では此程制度改正地方各農會に派遣の駐在技師を本省詰めにする事になつたので石城郡農會樋口技師は來る廿四日頃出發する事になつたと

○。。。。盜みと拾得橫領　四倉町新町居住宮城縣本吉郡生れ佐藤豐(四三)は客臘初旬同町妙見神社より銅板六貫目(價格十餘圓)を竊取した外クローム腕時計(價格十五圓)を拾得橫領昨十四日平署に檢擧された

○。。。。第三校職員會　今十五日午後三時より開催諸般の協議打合をなした

○。。。。平鐵關係協議　平鐵道購買支部評議員會竝に相談會は本月末俱樂部に於て行ふが議案は十九日迄に提出すると

○。。。。平商主任會　來る十九日から一週間開き種々打合せを行ふ

○。。。平靑訓夜學　平靑訓新正休暇は昨日限り終了今十五日から左記分擔の下に夜學を始めると

修身(篠山)公民(坂內)數學(大和田)地理(鈴木康)國語、歷史(井上)商業(丹野)

信用組合便り

內鄕。。　昨十四日午後一時から同村家政女學校で開き九年度借入最高限度二萬圓一組合員の貸付い最高限度三千圓に決定其他數件を附議した

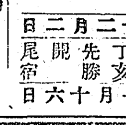
平。　役員會を今十五日午後一時から同所樓上で開いた

○。。。。。關原司君出發　來る二十日千葉電信第一聯隊に入營の平町一丁目關原司君は明十六日平發午前十時四十一分で出發する

○。。神谷　片寄村長を組合長に此程設立明十六日午後一時から同村小學校で委員會を開く

舊十二月二日　火曜　丁亥　先勝　開　尾宿
新一月十六日

十六日
日出　六、五〇　月出前　七、二三
日沒　四、五一　月沒後　五、三六
滿潮　前七、〇〇　後五、二五
干潮　前〇、〇〇



諸判定總本部　東京市本鄕區湯島四丁目五番地　高島易斷總本部　神宮館

▲一白の人　我意が通らぬとて强行の態度を採れば不利▲二黑の人　共存共榮の精神にて世間に接すべし病注意▲三碧の人　突風の舟が覆す如し日和良しとて危險あり▲四綠の人　競爭心を起さば共倒れとなる移轉旅行は吉▲五黃の人　塵も積れば山となる小利たりとも默がすな▲六白の人　身心に動搖を生ずる日迷はず營業を勵み吉▲七赤の人　福祿大に加はる日起業開店普請造作凡て吉▲八白の人　運氣佳良にて目的成就すべく引立も大なり▲九紫の人　人に賴りて後悔あり失敗を重ぬべき危險日

內臟外科　一般外科　花柳病科　(入院隨意)
平町六丁目(橋際)
木村外科醫院
電話　三〇九

毛糸　御安くなりました
並太毛糸　一オンス　十二錢五厘
春色全部揃ひました。
相變らず御引立の程を。
平町田町
ハシモトヤ糸店
電話　十四番

產科　婦人科　外科　藥局
院長　木村寅次郎
醫學博士　內木宗八
藥劑師　玄番彌一
入院隨意　病室完備
平町新川町十九番地
木村病院
電話　一六四番

お醬油は……ヤマフル
味噌　醬油　たひら正宗　鰹節　食料品
鹽屋
山崎合名會社
福島縣平町
電話(營業部一〇番)(本店二七番)
明治生命磐城代理店　山崎與三郎

生花教授
池ノ坊流　生花を懇切丁寧に御敎授いたします、お遊びがてら御出で下さい。
平町四丁目和泉屋旅館
須藤まつの

飯島彌助儀葬送の際は遠路の處御會葬被成下且つ御鄭重なる御玉串料を賜り御厚志の段難有奉深謝候、一々拜趨御禮可申述の處乍略儀以書中御禮申上候　敬具

昭和九年一月十四日
福島縣平町田町七四
女　飯島榮子
藤田榮助

御會葬御禮

一月十四日
藤田女學校々友會